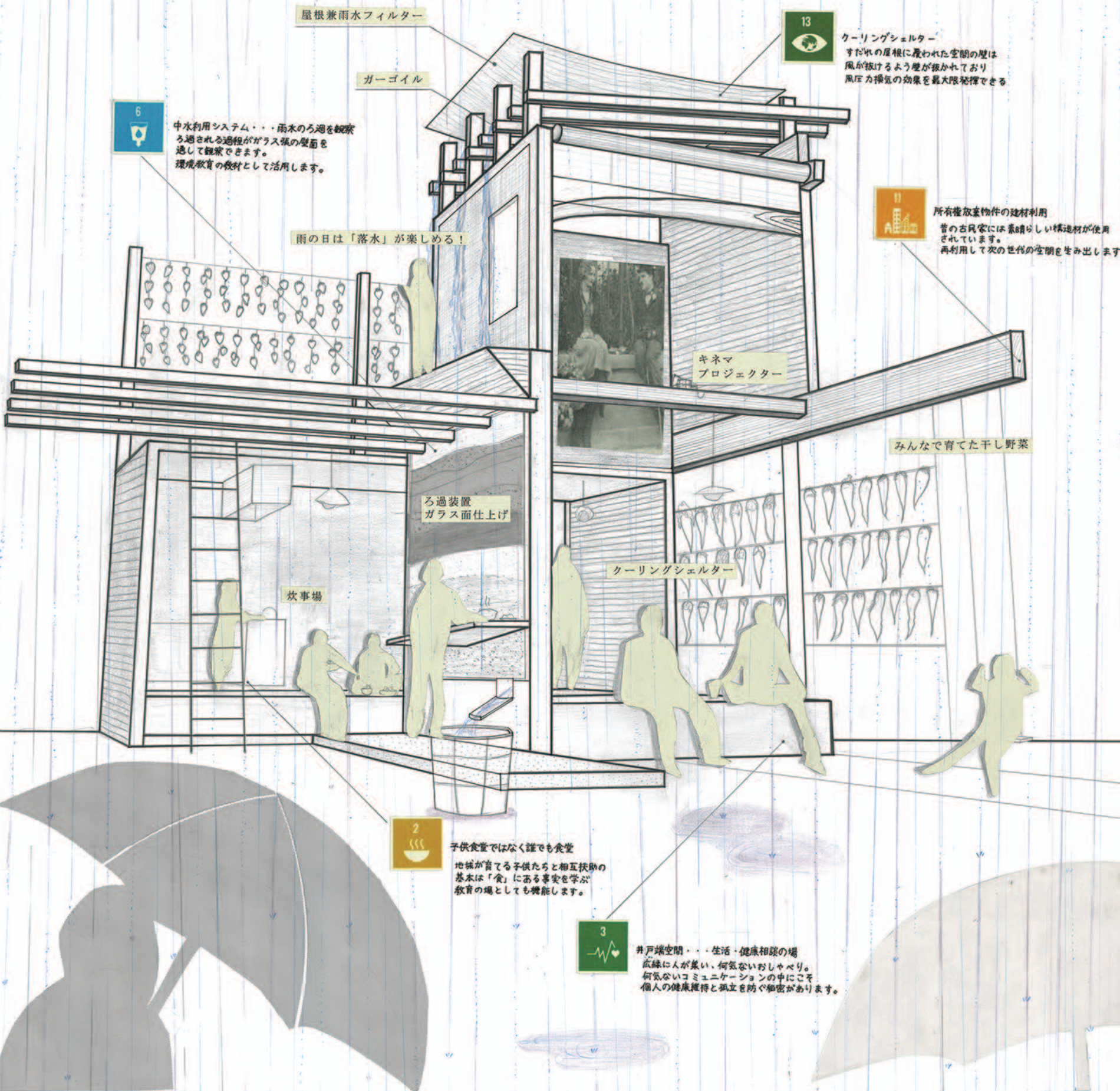


2軒と1軒の山田さん家

晴れの日ばかりではありませんが、地域で集える開放型のリビングです。



ここは誰も住んでいない、いわゆる「空き家」だった。最近リノベーションをして地域の高齢者や子供たちが集う憩いの場となった。地域のリビング的な空間だ。昔ながらの縁側に腰を掛け同じ昔話を繰り返すおじちゃん、おばあちゃん。雨水をろ過させつつ、屋根への打ち水として利用するクーリングシェルター。みんなが育てた野菜の天日干しが延伸中。日本古来の「無」的な空間が地域のインテリアを盛り上げ、生活の一部となる。誰もが利用可能で誰も取り残さない。

No one will be left behind.